

ご案内

令和7年8月4日

令和7年度三重県建設技術センター建設技術研修

(公財) 三重県建設技術センター

公益財団法人三重県建設技術センターは、地域社会の健全な発展と安全安心な住環境を実現するための人材育成に努めています。

令和7年度も建設技術研修について、技術力の向上と知識の習得を目指した専門分野と、建設、防災等の知識、意識高揚を図るための一般分野に区分して、種々の研修会を開催いたします。

今回は、下記の研修を募集いたしますので、この趣旨をご理解いただき、ご担当、関係者の皆様の積極的なご参加をお願い申し上げます。

記

研修名

「鉄筋コンクリートの施工管理（建築編）」 9月3日（水）開催

- ・詳細は、別紙の実施要領を参照してください。

お問い合わせ

〒514-0002 三重県津市島崎町 56 番地
(公財) 三重県建設技術センター総務研修課
Tel 059-229-5624 Fax 059-229-5617



「鉄筋コンクリートの施工管理（建築編）」

1. 目的

建築工事で使用するコンクリートの配合報告書はどのように計算されているのか、骨材の密度などはどのように計っているのか、配合報告書の読み取り方について、知識の習得を図ります。

また、鉄筋工事（配筋段階）での不具合の実例を示し、良質な鉄筋コンクリート構造物建設への理解を深めます。

2. 研修日：令和7年9月3日(水) 13:30~16:30

3. 研修会場：三重県総合文化センター 男女共同参画センター 2階 セミナー室A 三重県津市一身田上津部田1234番地

4. 受講対象者：県、市町、公社等職員及び民間建設関係社員

5. 研修内容、講師：研修スケジュール参照

6. 募集人数：30名

7. 申込方法・締切日：令和7年8月27日(水)

(1) 「研修受講申込書」（様式1）にご記入のうえ、(公財)三重県建設技術センター総務研修課あて (FAX:059-229-5617) にお申込みください。

(2) 請求書については、区分を選択してください。Web請求書をご希望される場合は、ご指定のメールアドレスにお送りさせていただきますので、お手続きをお願いします。

(3) 申込み多数の場合は、先着順に受講者を決定します。なお申込み後、受講者に変更が生じた場合、必ずご連絡してください。また申込み人数が少ない場合は中止することがあります。

8. 受講料のお支払い

(1) 受講料： 7,150円/人（うちテキスト代 990円）消費税10% 650円

(2) お支払方法： 締切日までに金融機関への振込みにてお願いします。なお振込手数料はご負担ください。締切日以降のキャンセルについての返金は致しません。

金融機関名：三十三銀行津駅西支店 普通預金 No. 700489

登録番号：T9190005009720 公益財団法人三重県建設技術センター 理事長 佐竹 元宏
ザイ)ミエケンケンセツギジュツセンター

9. 持参品：筆記用具、CPD技術者証など（希望者のみ）

10. その他

(1) 建設系CPD単位取得対象研修 建築系： 建築CPD運営会議 「3時間」

※この研修会はCPDの学習履歴申請を主催者が行いますので、CPDを希望される場合、申込書のCPD欄に○印をしてください。研修会当日、ユーザーIDとパスワードをご確認のうえ、会場にて申請してください。

(2) 駐車場には限りがございますので、公共交通機関をご利用ください。

(3) 受講に際し、受講票の発行は行っておりませんので、ご了承ください。

お問い合わせ

(公財) 三重県建設技術センター総務研修課 担当：塩冶・笠井

〒514-0002三重県津市島崎町56番地 TEL: 059-229-5624 FAX: 059-229-5617

ホームページ：<http://www.mie-kengi.or.jp> ※当日 TEL: 090-5603-6336

令和7年度建設技術研修

「鉄筋コンクリートの施工管理（建築編）」スケジュール

主 催：公益財団法人三重県建設技術センター

後 援：三重県県土整備部

日 時：令和7年9月3日（水）13：30～16：30

会 場：三重県総合文化センター 男女共同参画センター 2階 セミナー室A

時間	(h)	内 容	講 師
13：30		研修受講説明、注意事項など	
13：35	1.5	<p>① 配合報告書はどのように出来ているのか、内容を読み取ってみましょう。</p> <p>② コンクリート用の骨材の密度の測定方法を確認してみましょう。</p> <p>③ 充填不良やひび割れの不具合を確認してみましょう。</p> <p>④ 質疑応答</p> <p>鉄筋コンクリート造構造物の構造体の耐力や耐久性は、生コンクリートをはじめ、さまざまな要因の影響を受けます。本研修では、生コンクリートの配合報告書の中身に着目して、強度の余裕度など計算の過程を知っていただいた上で、骨材の品質を確認する方法や、建築工事における具体的な不具合の発生状況を挙げて、その原因や対策の例を示します。</p>	<p>愛知工業大学工学部 建築学科 教授 瀬古 繁喜</p>
15：00		休憩(10分)	
15：10	1.5	<p>① 鉄筋工事の基礎と不具合防止対策</p> <p>② あなたが検査員：不具合を挙げてみましょう</p> <p>③ 質疑応答</p> <p>鉄筋コンクリート造構造物の施工において、鉄筋工事の不具合は重大な構造欠陥に直結するため、施工プロセス内の適切なタイミングで検査を行なう必要があります。本研修では鉄筋工事における具体的な指摘事項を挙げ、その原因や是正の例を示します。また、配筋状況写真から不具合を見つけ出す模擬検査を行なって、不具合の発見能力を養います。</p> <p>全体質疑</p>	<p>清水建設㈱名古屋支店 生産技術統括部 グループ長 前田 栄一</p>
16：25			
16：30	3.0	アンケート～ 研修終了	